

【著者紹介】

北村洋 KITAMURA Hiroshi

ウィリアム・アンド・メアリー大学 (College of William and Mary)
アメリカ国際史・文化史

「ブルース・リーと『帝国』アメリカ」『現代思想』2013年10月臨時増刊号、96-109頁

“Shoot-Out in Hokkaido: The ‘Wanderer’ (Wataridori) Series and the Politics of Transnationality,” Gates and Funnell, eds., *Transnational Asian Identities in Pan-Pacific Cinemas* (Routledge, 2012), 31-45.

Screening Enlightenment: Hollywood and the Cultural Reconstruction of Defeated Japan (Cornell University Press, 2010).

許芝銀 HEO Jieun

西江大学校他非常勤講師
近世日朝関係史

『竹島紀事』(共訳)、2013年／『倭館の朝鮮語通詞と情報流通』2012年／『對馬朝鮮語通詞小田磯五郎の情報収集と対外認識—通訳翻譯を中心に—』2010年

池内敏 IKEUCHI Satoshi

名古屋大学大学院文学研究科
近世日朝関係史

『大君外交と「武威」』名古屋大学出版会、2006年／『薩摩藩士朝鮮漂流日記』講談社選書メチエ、2009年／『竹島問題とは何か』名古屋大学出版会、2012年

佐藤深雪 SATO Miyuki

広島市立大学大学院国際学研究所
日本文学

「時制のレッスン—漱石の『手紙』」、『日本文学』61巻3号、日本文学協会、2012年3月／「『彼岸過迄』論—短編連作小説の枠について」、『広島国際研究』第19巻、広島市立大学国際学部、2013年11月／「偶然の構造—チャールズ・サンダース・バースと夏目漱石」、『比較日本文化研究』第16巻、比較日本文化研究会、風響社、2013年12月

逆井聡人 SAKASAI Akito

東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士課程
日本近代文学、戦後都市文化研究

「田村泰次郎『肉体の門』論 「新生」の物語と残余としての身体」『言語態 第11号』言語態研究会、2011年／「物語のなかのヤミ市」『盛り場はヤミ市から生まれた』橋本健二・初田香成編、青弓社、2013年／「映される焼跡と語られない〈焼跡〉—戦後日本映画批評と焼跡表象—」『言語情報科学 12』東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻、2014年

溝淵久美子 MIZOBUCHI Kumiko

中京大学他非常勤講師
映画史、映画理論

「Great Apes on Screen—物語映画における大型類人猿の表象についての試論—」、『名古屋短期大学研究紀要』51号、名古屋短期大学、2013年／「懸賞というメディア・イベント—大阪毎日新聞社『トーカー 大日本帝国史』の脚本コンクールをめぐって」、『映画研究』第7号、日本映画学会、2012年／「物語の動員—映画法下における映画原作・シナリオの懸賞制度をめぐって」、『JunCture: 越域的日本文化研究』第3号、名古屋大学大学院文学研究科附属日本近現代文化研究センター、2012年

王勝群 WANG Shengqun

名古屋大学大学院文学研究科 博士後期課程
日本近現代文学・比較文学

「『厚化粧』の田村俊子—つくる／つくられる女作者」、『名古屋大学国語国文学』106号、2013年／「『奇装異服』の張愛玲—語る／語られる女性作家」、『野草』第93号、中国文芸研究会、2014年

魏晨 WEI Chen

名古屋大学大学院文学研究科 博士後期課程
〈外地〉日本語学、児童文化

藤木秀朗 FUJIKI Hideaki

名古屋大学大学院文学研究科
映像文化

Making Personas: Transnational Film Stardom in Modern Japan. Harvard University Asia Center, 2013

"Creating the Audience: Cinema as Popular Recreation and Social Education in Modern Japan." In *Oxford Handbook of Japanese Cinema*, ed. Daisuke Miyao. Oxford and New York: Oxford University Press, 2013

"Addressing the Age-bound Readers: Tezuka's Early *Seinen* Manga." *Mechademia* Vol. 10, 2013.

坪井秀人 TSUBOI Hideto

名古屋大学大学院文学研究科
(2014年4月より国際日本文化研究センター)
日本近代文学・文化史

『声の祝祭——日本近代詩と戦争』名古屋大学出版会、1997年／『感覚の近代——声・身体・表象』名古屋大学出版会、2006年／『性が語る——20世紀日本文学の性と身体』名古屋大学出版会、2012年

馬場伸彦 BABA Nobuhiko

甲南女子大学文学部メディア学科
メディア文化論、写真論、近代日本文学

『ロボットの文化誌——機械をめぐる想像力』(編著) 森話社、2004年／『機械=身体のパリテーク』(共著) 青弓社、2006年／『「女子」の時代!』(編著) 青弓社、2012年

鳥羽耕史 TOBA Kōji

早稲田大学文学学術院
日本近代文学、戦後文化運動

『運動体・安部公房』一葉社、2007年／『1950年代——「記録」の時代』河出書房新社、2010年／『安部公房 メディアの越境者』(編著) 森話社、2013年

村上暁 MURAKAMI Satoru

映像文化

中川智寛 NAKAGAWA Tomohiro

名古屋経済大学市邨高等学校
日本近現代文学・文化史

「田村泰次郎試論—文芸復興期前後、及び横光利一との関連について」(濱川勝彦・尾西康充他編『丹羽文雄と田村泰次郎』学術出版会発行・日本図書センター発売2006年)／「異郷での彷徨—上海の一解法」(国際日本文化研究センター「日本研究」38集 2008年)／「桐野夏生における都市——深層としての金沢、そして「東京島」へ」(『国文学 解釈と鑑賞』73巻11号 2008年)

釋七月子 SHAKU Natsuko

名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程
自分史

「自分史における「虚構」——鈴木政子『わたしの赤ちゃん』を中心に——」『JunCture 超域的日本文化研究』第4号、名古屋大学大学院文学研究科附属日本近現代文化研究センター、2013年

茂登山清文 MOTUYAMA Kiyofumi

名古屋大学大学院情報科学研究科、教養教育院共用施設(プロジェクトギャラリー「clas」) 運営ワーキンググループ
視覚文化(ヴィジュアルリテラシー)、情報デザイン

「中川 運河 写真」(企画・編集)エイト、2012年／*Visual Experience: Architecture and Photography, International Forum on Emerging Visuals*, 2012年／『情報デザインベシクス』(共著) ユニテ、2007-2008年／『可視化の図学』(共著) マナハウス、2004-2006年